

科目名	映像リテラシーF 1							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	放送芸術科 2 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	平岩 モトイ		教員の実務経験		あり	実務経験の職種		CMディレクター	
【科目の目的】 本科目を受講する生徒にとってのCMは、映像コミュニケーションのあらゆることを教えてくれる宝の山である。たった15秒のCMには、映画誕生から120年余りの間に発見・考案されたあらゆる映像手法が駆使されており、我々はそこから多くのテクニックを学ぶことができる。ディレクター、プランナーはもちろん、CM業界に限らず広く放送・映像業界で仕事をしようとする若者にとって欠かせない映像の基礎体力作りを目指す。									
【科目の概要】 テーマごとにふさわしいアーカイブ映像を視聴し、「サンプル視聴」→「ポイントの整理」を繰り返すことで、なぜその表現が作られたのかを理解する。生徒の積極的な参加を促すために「アンケート」「レポート」を適宜実施する。やむを得ず、内容が前後、または変更する場合がある。									
【到達目標】 ・映像手法のパターンを知ること、自分の仕事に応用ができるようになる。 ・映像の本質を理解することができる。									
【授業の注意点】 遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合はその旨、申し出ること）内部資料を扱うことがあるため、授業で知り得た情報をSNS等へ書き込むことを禁ずる。授業中の飲食、スマホ、ゲーム機の使用は禁止する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A CMとしての映像	その特殊な役割を持つCM映像の特性を理解している		その特殊な役割を持つCM映像の特性をある程度理解している			理解していない			
到達目標 B 映像における訴求力	タレント、食べ物・・・極めて短い時間での訴求力の追求が出来る		ある程度の訴求力を引き出せる			訴求力を理解出来ない			
到達目標 C 実写とアニメーション	実写とアニメーションの特性と違いを正しく理解している		実写とアニメーションの特性と違いをある程度理解している			理解していない			
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									
科目名	映像リテラシーF 1							年度	2025

英語表記				学期	前期		
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス／映像とは何か			ガイダンス／	映像が果たしてきた役割を知る		
				映像とは何か			
2	タレントCM			タレントCM	日本CMの特徴であるタレントCMとは何かを		
					理解する		
3	商品のセールスポイント			商品のセールス	CMは何を訴求しているのかを知ること、		
				ポイント	セールスポイントの概念を理解する		
4	日本のCM史 1			日本のCM史 1	昭和の名作CMを見る		
5	日本のCM史 2			日本のCM史 2	平成の名作CMを見る		
6	シズルCM			シズルCM	世界共通の食べたくなる映像手法を知る		
7	ブランド			ブランド	長寿ブランドとは何かを理解する		
8	3B①美人の力			3B①美人の力	映像における美人の意味とは何か。		
					売れる映像の作り方を知る		
9	3B②赤ちゃん			3B②赤ちゃん	映像における赤ちゃんの力とは？訴求力の		
					ある映像の作り方を知る		
10	3B③動物			3B③動物	人はなぜ動物を見たがるのか？魅力的な映像		
					の作り方を知る		
11	キャラクター			キャラクター	キャラクターをタレントとして理解する		
12	アニメ			アニメ	アニメと実写の違いを知る		
13	ストップモーションアニメ			ストップモー	キャラクターに命を吹き込むストップモー		
				ションアニメ	ションアニメについて知る		
14	デザイナーアニメ			デザイナーアニメ	実際のビジネスで、アニメはどう利用され		
					ているのかを知る		
15	オリンピックと映像			オリンピック	東京オリンピック開催に合わせて、		
				と映像	オリンピックと映像の関係を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					